

道路事業

北海道開発については、「第9期北海道総合開発計画」（令和6年3月12日閣議決定）において、多様な主体と「共に北海道の未来を創る」ことをコンセプトに、北海道の強みである「食」、「観光」、「再生可能エネルギー」のポテンシャルを踏まえ、豊かな北海道を実現し我が国の経済安全保障に貢献することを目指し、北海道の価値を生み出す「生産空間」の維持・発展を図ることを目指しています。

道路における具体的な取組としては「世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成」に向け、農水産物等の輸送を支える高規格道路の整備等を推進します。また、「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」の実現に向け、道の駅における情報提供の多言語化、シーニックバイウェイ北海道、サイクルツーリズム等を推進します。さらに「ゼロカーボン北海道の実現」に向け、道の駅における急速EV充電施設の設置等を推進します。

気候変動により激甚化・頻発化する水災害や巨大地震等の大規模災害、インフラの老朽化の現状等を踏まえ「生産空間を守り安心・安全に住み続けられる強靱な国土づくり」の実現に向け、災害時における代替性確保のための高規格道路整備や基幹的な道路ネットワークの強化、社会経済活動を支える道路施設の予防保全型のメンテナンスへの転換、i-Snow等のインフラ分野のDX化による現場の生産性・効率性の向上を推進します。

1 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

○高規格道路ネットワークの整備

広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱性を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。

・国道44号 別保尾幌道路、尾幌系魚沢道路



道路ネットワークの整備
国道44号 尾幌系魚沢道路

2 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

○「シーニックバイウェイ北海道」の推進

シーニックバイウェイ北海道は、地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。釧路開発建設部管内には「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」と「知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ」の2つの指定ルートがあり、約50団体が活動しています。

また、シーニックバイウェイ「秀逸な道」では、道内各地の活動団体がお薦めする特に魅力ある景観等を有する道路を15区間認定し、景観の維持・形成や誘客に向けた情報発信等を重点的に実施します。

釧路開発建設部管内では、令和3年度に「美幌峠と屈斜路湖を風のように吹き抜ける道」（弟子屈町）と「大自然の中を一直線に貫く中標津ミルロード」（中標津町）の2区間、令和6年度に「北太平洋と湿地の風土に息づく自然と漁業の道」（浜中町・厚岸町）が「秀逸な道」選定区間に認定され、多様な関係主体の連携のもと、ハード・ソフトの景観形成・維持の取組等を実施します。



シーニックバイウェイ北海道
釧路湿原・阿寒・摩周
シーニックバイウェイ(弟子屈町)

○サイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向け、安全で快適な自転車走行環境の整備やサイクリストの受入環境の充実、情報発信の取組を推進します。釧路開発建設部管内には、雄大なふたつの国立公園を感じる延長約308kmのサイクルルート「阿寒・摩周・釧路湿原ルート」があります。



サイクルツーリズムの推進
阿寒・摩周・釧路湿原ルート
(標茶町)

3 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

○災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの強靱化

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路の整備や緊急輸送道路上の道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。また、気候変動に伴い激甚化・頻発化する気象災害、切迫する大規模地震等に対応するべく、災害に強い国土幹線道路ネットワーク等を構築するため、高規格道路ネットワークの耐災害性強化等の抜本的な対策を含めて、防災・減災、国土強靱化の取組の更なる加速化・深化を図ります。

<高規格道路> ・国道44号 別保尾幌道路、尾幌系魚沢道路

<一般国道> ・国道44号 根室防雪、雪裡橋架替

・国道272号 上春別防雪



道路交通ネットワークの強靱化
国道44号 雪裡橋架替

○防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術等を積極的に導入しつつ、事業のスピードアップを図ります。

・国道38号 釧路橋北地区電線共同溝ほか2箇所



無電柱化の推進
国道38号 釧路橋北地区
電線共同溝

○社会経済活動を支える道路施設のインフラ老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

・国道38号ほか 橋梁修繕、舗装修繕ほか



道路施設のインフラ老朽化対策
国道44号
温根沼大橋(根室市)

○冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、災害時の一時避難場所となる道の駅等において自治体や関係機関と連携した防災訓練を実施します。また、大雪・暴風雪時の取組として、道路管理者間で連携した高速道路通行止め時の並行路線対策やラジオ放送・SNSを活用した情報発信、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊：リエゾン^注）を含む派遣による自治体支援に向けた情報収集などを、円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

(注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体に派遣する職員)

・国道243号 美幌峠雪崩対策



安全・安心な移動環境の確保
国道240号
阿寒付加車線設置(釧路市)

○安全・安心な移動環境の確保

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」^注を推進します。また、生活道路における速度抑制や通過交通の進入抑制を図る面的対策の検討において、ETC2.0プローブデータを活用した分析により自治体を支援し、安全・安心な道路空間の整備を推進します。

(注：事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組)

・国道38号 星が浦大通交差点改良ほか11箇所

WISENET2050及び北海道共創ネットワークの実現に向けた釧路開発建設部の取組

釧路開発建設部では、WISENET2050及び北海道共創ネットワークの実現に向けて、管内の国道のサービスレベルを向上させるための取組を行っています。

今後、データを活用したサービスレベルの現状把握、速度低下要因の分析、サービスレベル向上に資する対策案の検討等を進めます。

WISENET (ワズネット) 2050 - 政策集について

北海道共創ネットワークについて



国道240号
阿寒付加車線設置(釧路市)